

令和3年度第1回 豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会議事概要

日 時：令和4年2月18日（金）午後2時～4時14分

場 所：豊能町役場2階 大会議室

出席者：委員9名、事務局3名

傍聴者：7名

1. 町長あいさつ

2. 委嘱状交付

3. 委員及び事務局紹介

4. 会長・副会長選任

会長に猪井委員、副会長に足立委員が選任された。

5. 諮問

6. 出席人数に基づく会の成立の確認及び傍聴承認

7. 【議事1】豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

（1）以下の事項について事務局より説明があった。

①豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

（2）主な質疑、意見

〔委員〕数字を読むときに、どのくらい住民や職員へヒアリングしているのかとか、アンケートの総論・温度感とかを知りたい。どのくらい個別の思いを聞いているのかといったデータの背景を教えてもらえると、一般論ではないとも言えるかもしれない。コロナの影響ならぬか喜びできない。データが欲しいと言うより具体事例を教えてもらいたい。

〔事務局〕総合まちづくり計画を策定するにあたり、アンケートやワークショップとして地域の中へ入っていった。総合まちづくり計画に資料を掲載しているので参考にしてほしい。人口動態で年間の出生数が増えたことについて、それがコロナの影響かどうか分からないが、要因の一つだとは考えている。

〔委員〕受け皿となる住宅環境整備は必須だと思うが、柱として教育の魅力化がある。学校の意

見を聞きながら学校園所と地域をつなぐ活動をしている。ほかの自治体ではしにくいような、人との繋がりや成り立つ仕組みづくりができれば。ただ、予算が限られている印象を受ける。各学校園所に地域枠のような予算の仕組みがあると良いと感じている。

〔委員〕町として、どこを観光スポットとして見ているのか明確にできれば。町としてのコンセプトを聞かせてほしい。国道 423 号 沿いにショップやレストランと言うのはすごく良いことだが、基本は車で訪問者になる。妙見口駅は大阪最北端の駅として売り出しているの、そこを観光と周辺の移住者に向けて PR してほしい。能勢電鉄の乗降者数を増やしながら活性化できれば。

〔事務局〕基本目標 3 において、観光を一つのコンセプトにして、能勢電などを利用した交流人口の増加と、町に人とお金を落としてもらえよう循環させていくということの観点について、もう少し検討させてもらう。

〔委員〕ただ単に通り過ぎるだけの国道 423 号に、いろいろな店もでき、止まる人も増えてきているが、車でしか移動できないエリア。国道から少し入ると、立ち寄りにくいと感じている。国道 423 号の賑わいにはすごく期待したい。いかに止まってもらうか。サイクリングでは物を買ってもらうのは難しい。ただ単に店を作るだけではなく、車を止めやすい場所が必要だと思う。

〔委員〕仕事として農業に入ってくるのはハードルが高い。農地法の関係で農業人でないと業はできない。就農支援塾の卒業生は農業をしても良いことになっている。豊能町で農業をしたいという人、ベースの部分を増やす取り組みが非常に重要。

〔委員〕マイカー、バイク等も含めた移動の選択肢が増えることで町全体が盛り上がる必要がある。北急の延伸もある。公共交通機関を使って、新大阪や伊丹空港など日本全国に移動できるということがまちづくりの価値の高まりになっていくことに期待している。ただ、東西間移動が課題なので、そこをどう解消するか。まち全体の利便性を向上させて住みやすいまちになることを考えていかないといけない。

〔委員〕町域は、ほとんどが市街化調整区域で企業誘致がなかなかできない状態になっている。R423 沿いに企業を誘致していくためにも、都市計画マスタープランを来年度から改定して、土地利用について柔軟に対応していきたい。

〔委員〕資料 1 の基本目標 1 「若年層が選びやすい環境をつくる」の「(3) 快適で住みやすい環境の整備」が基本目標 4 と重複しているが、取り組み内容は若年層だけではなく、すべての層に必要なものになっている。基本目標 1 なら、もう少し取り組みを絞った方が良い。参考資料 1 の 36・37 ページ。シティプロモーションの移住促進だと施策 9 と 11 になるが、むしろ施策 10 「みんなが住み続けたくなる定住促進」に変えた方が良いのではないか。今後、公民連携も必要になってくる。財政状況厳しい中、町だけで全てできる訳ではない。民間の力を借りながら事業を進めていく必要があり、このあたりに触れておいた方が良いと思う。

〔会長〕シティプロモーションは誰を対象に、何を目的にするのが非常に重要。町外の若年層ではなく、町内の人と公民連携。そして中だけでは足りないの、外の住民とも連携をとるということが良いのか。その方向性は書いておいた方が良いと感じた。

〔委員〕中高生の居場所がないから欲しいと聞くことがある。定期代が高いことを理由に転出する人が多いが、それでも住み続けたいと思わせるような居場所づくりが必要。町内の大学生と活動することがあるが、大学生たちは割と豊能町のことを好きでいてくれて、まちづくりや町おこしに積極的な人が多い。やっぱり住み続けてもらえたら町のことを好きになる。だから中高生に対しての施策があれば良いと思う。

8. 【議事2】第1期・第2期総合戦略の数値目標達成状況について

【議事3】第2期総合戦略のKPI項目設定について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①第1期・第2期豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標達成状況について

②第2期豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI設定項目（案）について

(2) 主な質疑、意見

〔会長〕ものづくりではPDCAが良いが、まちづくりでは公民連携など参加者を増やしていくことが大事。もっと町民の熱意を上げないといけないことを考えると、PDまでは同じだが、次は評価、アセスする。そして、アクションではなくレポートする、使うというのが大事。つまり町民に知らせることで参加者を増やしていくことが大事。第1期総合戦略の数値目標はほとんどが未達だった。未達だから頑張っていこうというのは正しいが、これは自分たちで何か改善していかないとはいえないと思える自己高揚感の高い人に向けたものであり、一般的には人は困難にあたると怖くて逃避するもの。未達の状況を見たときにどう思うのかというと、頑張ろうではなく、もう豊能町は駄目だと思ってしまう。指標の作り方として、数値目標を評価だけに使うのなら少し厳しめの目標が良いが、町民に見せるのなら達成できるような目標値まで緩めても良いのではないかと考えている。住民に見せるものなのか、事業の管理用に使うものなのかで、向かう方向が違う。

〔委員〕まちづくりと言うのは住民一人一人の熱量が違う。やりたい人のコミュニティの凝縮性が高まって、やっていない人がさらにおいていかれるのが特徴。それを考えると、緩めの数値設定にするのがいいと思う。まちづくりは、頑張れば頑張るほど、本気になればなる人がいるほど、後の方が残されていって、足を引っ張る側に回ることもある。あまりガツガツするのではなく、みんなに分かりやすいもの。怖がらせずにというところが落としどころには良いのではないか。

〔委員〕地域で何かしようとする、ドリームキラーが出てくる。その牙城をどう崩すのが難しい。そこで、行政の力が必要だと思う。地域の人に、そんなものいらないと言われると、もうそれで終わってしまう話が多い。

〔委員〕ぜひ町民に見せてほしい。亀のような歩みでも、ちゃんと積みあがってきているのだと言うことが分かると良い。

〔委員〕基本目標4の豊能町アプリのダウンロードについて「全町民が利用することを目指す」というのはやめた方がよい。スマホ持っていないとできない。目標は緩めに設定した方がよい。

〔委員〕基本目標3(1)で沿道に新規出店した店舗数を目標にしているが、店舗に限らず事業所

の数にした方が広くとれると思う。農業関係の事業所とかができる可能性もある。

〔委員〕まち全体のうねりを作ろうと思ったら、町の実態をつかんで、町に興味をもってもらうことが大切なので、K P Iの数値を緩くするのは良いと思う。

〔委員〕計画を作ってP D C Aを回すとなると、いかに進行管理をキッチリするかということで高い目標を設定するものだと思っていたが、町民の方に見ていただくという必要は当然あると思う。目標値やK P Iの設定値について、分かりやすい達成できる項目・数値で考えてもらいたい。

〔委員〕数値を掲げると、6割7割で満足する人や、半分達成できれば満足する人などバラバラになるところではある。一つ一つの目標を下げるのは良いが、本当はここまでやっていけないと町が傾いてしまうという、怖がらせるようなものも必要だと思う。

〔会長〕メリハリをつけろというご意見。確かにその通り。数字は進行管理上大事だが、住民を巻き込んでいくには、物語が大事。なぜ、これが起こっているのか。こういう関わりがあって、こういう人たちがいて、なかなか数字には出てこない物語を聞いてもらうことで人の参加を変えていく。事業を回す意味でのP D C Aではなく、町民に見せていくなら、まちづくりに関わってくれている人が、何をして、こういう風になっているのかというストーリーがあっても良い。

〔委員〕規則には部会の設置がある。なかなか苦慮されているのが伝わるが、部会はしないのか。1期目のときは部会をしていたが。

〔会長〕部会設置しても良いのではないかのご意見。年度末に近づいて役場的には大変な時期だが、部会で意見を出してもらうのも重要なこと。また検討を。

9. 閉会

(1) 午後4時14分に閉会した。